


外国語活動 授業の流れ・パターン



過程	指導者の動き	例えばこんな活動を・・・
つかむ	①あいさつ(Greeting) 英語で話しかける最初の言葉、簡単でありながら心のこもるあいさつ	
	②ウォームアップ(Warming Up) 日本語思考を英語思考に切り替えるスイッチ	
	<ul style="list-style-type: none"> ・児童がすでに知っている語彙を使う。 ・英語のリズムに乗りやすいものを選ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語の歌 ・チャンツ ・簡単な英語の会話 ・絵本の活用
	③復習(Review) 2回目の授業からは、できるだけ前時の復習になる活動	
	<ul style="list-style-type: none"> ・前時で扱った語彙を復習する。 ・前時の表現の復習として、既習事項を使い、英語で質問をする。(児童たちの興味を喚起し、英語で答えたいくなるような質問をする。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Small Talk (Teacher's Talk) ・前時で扱った語彙の復習 ・簡単な英語クイズ 
④本時のめあての提示 (Today's Target)		
	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語で本時のめあてを提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板に板書などして提示する。 ・「～しよう」のような形で行動目標を提示。
考える	⑤導入(Introduction) 本時の指導目標となっている表現の導入	
	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい語彙・表現を導入する。 ・指導目標の表現の使用場面を具体的に示す。 ・英文をたくさん聞かせて、意味を推測、理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ピクチャーカード等で新しい語彙を導入。 ・ALT とのデモンストレーションを見せ、新しい表現を何度も聞きとらせる。
	⑥練習(Practice)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・導入した語彙や表現を練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ピクチャーカードを使って ALT が発音のモデルになる。
深める	⑦活動(Activity) 本時の表現等を使って、慣れ親しむためのゲームやコミュニケーション活動を行う	
	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙や表現に慣れ親しむゲームなどの活動。 ・ゲーム等で十分に慣れ親しんだ後は、自分のことを伝え合う活動を行う。 ・児童の知っている語彙を使って入れ替えながら、表現の内容を膨らませていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアやグループでの活動を行う。(やりとり) ・教材に含まれる様々なゲーム。 ・インタビュー活動。 ・インフォメーションギャップ。 ・ALT とのコミュニケーションを最終目標にする。
確かめる	⑧まとめ(Check) 本時の学習のめあての達成度を確認する。次時への期待感をもたせる。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてとまとめが一体化するようにする。*めあてによってはまとめを省き、ふり返りのみを行う場合もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先生が短くポイントを確認する。 ・児童との対話から子供の言葉でまとめる。
振り返る	⑨ふり返り(Reflection) 児童の英語を使おうとする態度についてよかったところを称賛する。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の授業全体のふり返りを行う。 ・時間があれば児童に発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童自身の言葉で本時をふり返る。 ・学級担任や ALT のフィードバック。 ・振り返りカード等の活用。
	⑩あいさつ(Greeting) 次時へつなげる、明るく元気なあいさつをする。	